

## 2022年度・世界プムセ選手権大会派遣選考基準

2021年12月17日  
強化本部

### 1. 派遣対象

世界プムセ選手権大会（2022年 4月、韓国・高陽市にて開催予定）

### 2. 選考基準大会

#### (1) 第一次選考

規定プムセ カデット・ジュニアの男女およびフリースタイル Under17の男女については「2021年度（第6回）全国少年少女選抜大会」を第一次選考会とする。

上記以外の規程プムセの男女およびフリースタイル Over17の男女については「2021年度（第15回）全日本プムセ選手権大会」を第一次選考会とする。

（以下、2022年度世界プムセ選手権大会第一次選考基準大会と表記する）

#### (2) 第二次選考

後記のとおり。

### 3. 選考基準

- (1) 選考対象は、個人種目について全カテゴリーを対象とする。  
また規定プムセに関してペア種目も対象とする。

	男子個人	女子個人
規定プムセ	カデット ジュニア Under 30 Under 40 Under 50 Under 60 Under 65 Over 65	カデット ジュニア Under 30 Under 40 Under 50 Under 60 Under 65 Over 65
フリースタイルプムセ	Under17 OVER17	Under17 OVER17

- (2) 強化本部において、後記（4）で定める選考対象選手の中から、後記（5）で定める選考基準に従って、派遣選手を選出する。ただし、後記（5）で定める選考基準に満たない場合には、当該カテゴリーの選手派遣を行わないものとする。
- (3) 前記（2）にて選出された選手につき、強化本部から理事会へ上程し、理事会にて承認後、当該選手が代表選手となる。

#### (4) 選考対象選手

2022年1月1日～12月31日の年齢区分による対象カテゴリーに出場した選手のうち以下の項目を満たす選手を選考対象選手とする。

ア 「2022年度世界プムセ選手権大会選考基準大会」に出場した選手

イ 下記の要件を満たす者

- ① 当協会に個人会員として登録されている者
- ② 日本国籍を有する者（2022年3月末時点）
- ③ 国際大会でメダル獲得または賞状を授けられる全日本テコンドー協会の期待に応え得る競技者を持つ者
- ④ 全日本テコンドー協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守していること
- ⑤ 大会に出場できないスポーツ障害・疾病がない者
- ⑥ 全日本テコンドー協会強化計画に沿って活動できる者
- ⑦ NF強化指定選手として選考される意志を有する者
- ⑧ 国技院が定める段位または品位取得者

#### (5) 選考基準

ア 個人競技

- ① 2022年度世界プムセ選手権大会第一次選考基準大会において1位及び2位の者を代表選手候補として選出する。但し1位または2位となった選手でも、決勝の得点が下記の得点以下である場合は国際競技力に乏しいと判断し、代表選手候補には選出しない。

規定プムセ 5.5      フリースタイルプムセ 4.2

\*この点数は、最終選考会に出場するための基準であり、代表選手にはより高い競技力を求められることから、最終選考会における点数下限は要項にて別途公表する。

- ② 2022年2月の強化合宿（※2月18日～を予定）において、代表選手候補を対象とする最終選考会を開催し、代表選手を選出する。なお、最終的な選考基準については、最終選考会の実施要項に定める。

イ ペア競技

前記で選考された男女個人または、それに準ずる成績の者の中で、ペア編成により上位入賞を目指せると強化本部が判断した者。

個人カテゴリーで選出された選手、または選考には漏れたがそれに準ずる成績の者（ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした）の中で上位入賞を目指せると強化本部が判断した者とする。

ウ 複合種目が設定された場合について

単一の選手が予選と決勝で異なる種目を試技する競技設定（例：予選では規定プムセのみで得点を決定し、決勝へ進んだ8名の選手は規定プムセ＋フリースタイルプムセを試技して総得点を競う）となった場合は、2022年度世界プムセ選手権大会第一次選考基準大会におけるそれぞれの種目の上位入賞者の中から、予選通過を重視して選考する。

以上